



◇ソーシャルスキルトレーニング講座②（SST）

8/25(木)に2回目のソーシャルスキルトレーニング講座が開催されました。今回のテーマは、「就職試験直前講座」でした。今回も多くの卒業年次生が参加し、真剣に講義を聞いていました。

始めに「対処と解決」の話がありました。例えば、人前で話をする緊張してしまうことを考えると、人前で話しをすることを避けることが対処です。できるだけ人前で話しをしないようにする…ことを続けても、いつまでも直りません。(時間が解決することはありません。)

解決するためには「どうして緊張するんだろう。」と考えることが大切です。緊張する原因の一つは、自分のことだけ考えて話している(緊張したらどうしよう…、声が震えたらどうしよう…とか)ことという指摘がありました。自分のことも相手のことも考えて話をする。話をする相手のために話すという視点を持つことが大切です。一方で緊張しないと言葉が雑になったりするので、緊張することも必要なことです。

次に「動作→言葉→表情」の順で気を付けて生活することが大切である」という話がありました。(このことは面接にも通じることです。)動作については、相手からどう見えるのかという視点も大切です。また、意識した動作により、前向きな納得できる言葉を選択するようになり、言葉を意識すると表情が良くなるということでした。

今後もSST講座は続きます。次回は10月26日(水)で、「報告・連絡・相談/メモ」のテーマです。自分を磨くために、社会人として必要な資質についての内容を積み重ねてください。

◇第2回進路希望調査

9月 8日(木)調査用紙配布 9月15日(木)提出締切(担任へ提出)

卒業年次生はすでに進路希望決定に向け活動中ですが、その他の在校生も真剣に自分の進路希望について考えて記入し、期日までに提出してください。**必ず保護者と進路の話をしてください。**特に、進学希望の場合は、選択の条件が多岐にわたるので、**分野・学力・経済面など早い段階から具体的に相談してください。**

記入の際は、ペン書きで丁寧に記入し、記入漏れやミスのないよう確認をして、期日をしっかりと守って提出してください。また、大事なものであるため保護者の署名(自署)が必要です。よろしくお願いいたします。

◇ 卒業年次の9月以降の外部模試日程

対象	日 程	内 容	備 考
卒業年次 (大学・短大・ 看護医療専門 学校希望者)	9/ 9(金) 9/10(土)	9月進研 マーク模試	○一般選抜の志望校を判断・検討する際の重要な判定材料となるので、自分でしっかり対策をして臨んでください。 ○推薦や総合型を考えている人も無関係ではありません。合格できたら、入学後に必要なのは学力です。自分の学力を客観的に把握して、足りないところを補強しましょう。
	10/7(金) 10/8(土)	10月進研 記述模試	
	10/28(金) 10/29(土)	11月進研 マーク模試	

先輩からのメッセージ♪

この春卒業し、社会人として働いている先輩方からのメッセージを紹介します。

「後輩のために」という想いが込められているメッセージだと感じました。

今まさに就職試験に向かおうとしている卒業年次生にとってだけでなく、在校生にとっても大切なメッセージだと思います。しっかり受けとめて自分自身を振り返ってみてください。



「敬語や一般常識等の基礎的なことはもちろんですが、午後の部や夜間の部の皆さんは、特に朝早く起きて夜まで活動できる体力を身に付けることが大切だと思います。」

「体力づくりと質問をする癖をつけることは、在学中に試みてほしいです。早寝早起きなど体力づくりも自己管理の一つだと思って実践してほしい。質問は目的達成のための手段であり、仕事を円滑に進めるためのコミュニケーションでもあると思う。」

「基本的なマナー（敬語やメールの書き方）は知っていて当然という雰囲気があるので、国語表現を学んで良かったと感じる。学校で学んだ勉強全てが役立つので、すべての科目をしっかりと学ぶことが大切だと感じた。」

「今、卒業年次の人は就職活動真っ只中だと思います。もうすぐ社会人になる皆さんに、私からアドバイスをするなら、強い気持ちを持つことです。社会人になれば自立することが求められます。今まで支えてもらった分、今度は自分で生きていかなければいけません。」

「興味のないことでも調べたりして、将来の選択肢を増やすこと。」

「分からないことや少しでも不安に思ったことがあったら、自分から聞いてみるようにする。別に大丈夫と思わずに、些細なことでも聞くようにすると、仕事などで分からないところがあった場合聞きやすいと思います。」

「誰にでもあいさつするように心がけ、話を聞くときはメモできるように準備すること。また、自分が就きたい仕事を卒業年次の7月に決めるのではなく、前々から決めておくこと。（考えておくこと。）」

「高校の時は休んだとしても、全部自分が大変になるだけですが、仕事になると、他の従業員の方に迷惑が掛ってしまうので、生活のリズムなどは整えた方が良いでしょう。」

